



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会社名 戸田工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 實來 茂
(コード番号 4100 東証第1部)
問合せ先 財務経理部長 沖本 和美
(TEL. 082-577-0055)

平成 30 年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び
通期連結業績予想の修正並びに営業外収益の計上に関するお知らせ

平成 29 年5月 12 日に公表しました平成 30 年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたことに加え、最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年3月期通期連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

また、平成 30 年3月期第2四半期連結累計期間において営業外収益を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異
(平成 29 年4月1日～平成 29 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,000	百万円 600	百万円 400	百万円 100	円 銭 17.36
実績値 (B)	16,568	1,098	1,209	851	147.89
増減額 (B-A)	△432	498	809	751	130.53
増減率 (%)	△2.5	83.0	202.3	751.0	751.9
(ご参考)前期実績 (平成 29 年3月期第2四半期)	14,091	1	△528	△674	△117.14

(注)平成 29 年 10 月1日付で普通株式 10 株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 平成 30 年3月期通期連結業績予想数値の修正
(平成 29 年4月 1 日～平成 30 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 34,500	百万円 1,000	百万円 900	百万円 400	円 銭 69.46
今回修正予想 (B)	34,000	1,600	1,800	1,100	191.02
増減額 (B-A)	△500	600	900	700	121.56
増減率 (%)	△1.4	60.0	100.0	175.0	175.0
(ご参考)前期実績 (平成 29 年3月期)	27,889	△151	△1,116	△2,926	△508.13

(注)平成 29 年 10 月1日付で普通株式 10 株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 差異及び業績予想修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異について

第2四半期連結累計期間における売上高は、中国・東南アジア地域等の緩やかな景気回復により、家電製品・自動車用途向け磁石材料の売上が伸長したものの、スマホ向け非接触充電用フェライトシートの販売開始時期の影響から、第2四半期連結累計期間の売上高は165億68百万円となりました。

一方、利益面においては徹底した原価低減活動や原価管理を推し進めたこと、また工場全体の稼働率が向上したことに加え、販売費及び一般管理費の見直しを徹底的に行ったことから、営業利益は大幅に増加し、10億98百万円となりました。

また、営業外収益として為替差益及び保険解約返戻金等があったことから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回ることとなりました。

(2) 通期連結業績予想の修正について

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績から通期売上高は当初の予想を下回るものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅な増益となる見込みであります。

なお、北米におけるリチウムイオン電池用正極材料事業の合弁化につきましては、継続して協議を行っておりますが、現時点では最終合意には至っておりません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. 営業外収益の計上

当第2四半期連結累計期間において、為替相場の変動により、為替差益124百万円を営業外収益として計上いたしました。

以 上